

【熊本県】

現在の景気：緩やかな持ち直しの動きが続いている。

3か月程度の見通し：円高、外需の減退、原油価格上昇などの不透明感はあるものの、緩やかな回復基調が続くとみられている。

個人消費：持ち直し。2月の大型小売店販売（店調後）は前年比0.4%増と5か月ぶりに増加。乗用車販売は、普通乗用車、小型乗用車ともに増加し、全体では前年比36.0%増と5か月連続で増加。軽乗用車販売は前年比35.3%増と5か月連続で増加。

住宅建築：持ち直し。2月の住宅着工戸数は、持家が減少したものの、貸家、分譲住宅が増加し、全体では前年比30.4%増と3か月連続で増加。

設備投資：一進一退。2月の建築着工床面積（非居住用）は前年比3.5%増と2か月ぶりに増加。貨物車販売は前年比23.7%増と8か月連続で増加。

公共工事：足許増加。2月の公共工事請負額は、国が減少したものの、独立行政法人等、県、市町村、その他の公共団体が増加し、全体では前年比38.1%増と2か月連続で増加。

輸出：一進一退。2月の県内通関輸出額は、一般機械、プラスチックなどが増加したものの、電気機器、金属鉱およびくずなどが減少し、全体では前年比1.9%減と2か月ぶりに減少。

生産活動：回復。1月の鉱工業生産指数（季調済）は、一般機械、輸送機械などが低下したものの、電子部品・デバイス、プラスチック製品などが上昇し、全体では前月比10.0%上昇し129.0。原指数は前年比28.3%上昇し113.3。

雇用情勢：足踏み。2月の有効求人倍率（季調済）は前月比0.01ポイント低下し0.68倍。新規求人数は前年比4.0%増と28か月連続で増加。

（トピックス）

地方経済総合研究所の「県内企業業況判断調査」（2月下旬実施、回答企業267社）によると、1-3月期の業況DIは製造業が前回（10-12月期）調査比3ポイント低下し32、非製造業が3ポイント上昇し21、全産業では1ポイント上昇し24と2期ぶりに改善。製造業では「食料品以外」が改善したものの、「食料品」が悪化。非製造業は「個人サービス業」が悪化したものの、「建設業」や「生産財卸売業」、「小売業」が改善。先行き（4-6月期）は製造業が3ポイント上昇したものの、非製造業が8ポイント低下し、全産業では5ポイント低下し29。欧州債務問題による世界景気の減速や原油価格の上昇が響き、厳しい見方。